
す す む し

SUZUMUSHI

Vol. 5 No. 10

1955年 11月

倉敷昆虫同好会

目 次

オオニジユウヤホシテントウ	
山口県に産す 安江 安宣	1
西大寺産スズメ蛾目録	
赤枝 一弘	2
編集後記	2

オオニジユウヤホシテントウ

山口県に産す

安江 安宣

オオニジユウヤホシテントウ *Epilachna vigintioctomaculata* はこれまで山口県下からはまだ報告されていなかったが、著者は 1955 年 9 月上旬 7—9 日に同県東北部の錦川の上流で、島根県境にちかい中国山脈の山中において本種が棲息していることを確認した。



×印はオオニジユウヤホシテントウ分布地点

の温量指数をとれば 99.5 °C、寒さの指数は -9.9 °であるから本種が同地に分布していることは当然のことであらう。

傍示ヶ峰は岩国から益田にぬける国鉄バス岩日線の通路で中国山脈の分水嶺上にあり標高 363 m、峰のところには数軒農家があって薪子畑もあり、こゝにも本種が棲息している。土地の人の話では馬鉢巣の被害は相当なものらしい。サカハチヨウ *Araschnia burejana* をみかけてかなり追廻したが捕虫網がないのでついにとり逃がしてしまった。

峰から南へ約 500~1000m を錦川の斜面に下ると大野の部落になるが、こゝは標高 350 m. 9 月に入つて採集時期が少しおくれたので個体数が少なく、からうじて敵匹とることができた。こゝからバスは錦川の深い V 字型の侵蝕谷を一気に 250 m をかけくだるので大切な生命はひとまず見ず知らずの運チャンにおあづけの形となる。時間の都合から広瀬町の本町は調査できなかつたが、これより下流で岩国市をさかのぼること約 35 耘の地点にある浜田郡河山村本郷口 (標高 60 m) では本種は見当らず、ニジユウヤホシテントウ *E. sparsa* (Herbst) を多數とることができた。広瀬町は標高 80 m で年平均気温 14.2 °C であるから多分同種の分布地帯と考えられる。

なお鹿野町は北緯 34 度 14 分であつて中国地方におけるオオニジユウヤホシテントウ分布地帯のうちでもっとも南に位置することになるが、紀伊半島南部をのぞけば本州全体からみても分布南限ということになる。

1. 山口県都濃郡鹿野町

2. 山口県浜田郡広瀬町傍示ヶ峰

3. 山口県玖珂郡広瀬町上大野

鹿野町は徳山市の真北約 30 耘バスで 1 時間の距離にあり、錦川の最上流に位置する山間の小郡呂で標高 370 m の高原である。從つて気候冷涼で中央氣象台「気温報告」第 4 卷によれば年平均気温 (最高最低の平均) は 12.6 °C、渡辺千尚博士の夏期平均気温 (5 月~10 月の平均気温) は 20 °C であり、また吉良龍夫教授

西大寺産スズメ蛾目録

赤枝 一弘

1. *Herse convolvuli* Linne エビガラスズメ
時おり燈火に飛来する。
2. *Psilogramma increta* Walker シモフリスズメ
やゝ普通
3. *Marumba gaschkevitschi eccephon* Boisduval モモスズメ 普通
4. *Langia zenzeroides nawai* Rothschild et Jordan オオシモフリスズメ
1955年燈火に飛來した一頭を採集した。
5. *Smerinthus planus* Walker ウヂスズメ
やゝ普通
6. *Acosmeryx castanea* Rothschild et Jodan クロクモスズメ
ヤブカラシにおいて幼虫を採集羽化した
7. *Gurelca masuriensis sangaica* Butter ヒメホウジヤク
普通
8. *Macroglossum stellatarum* Linne ホウジヤク
堤防等のアザミの花に飛來しているのを時々見かける。
9. *Macroglossum saga* Butler クロホウジヤク
かなり産す
10. *Dergesa elpenor lewisi* Butler ベニスズメ
あまり多くない様である
11. *Theretra nessus* Drury サイロスズメ
普通
12. *Theretra japonica* De l'Orza コスズメ
もっとも普通
13. *Theretra oldenlandiae* Fabricius セスジスズメ
少い
14. *Cianis bilineata* Walker トビイロスズメ
あまり多くない。
以上14種が私の目録であるが市内久山氏が西大寺市にてメンガタスズメとクルマスズメを採つておられるがくわしい事は知らない。参考に倉敷産のスズメ蛾についてお知らせくださった小野洋氏に感謝いたします。

編集後記

編集目多忙の為、最近発行が遅れ勝ちになつた事をお詫びします。又本号には、安江先生から貴重な原稿を出して頂きました。

すずむし 第5卷 第10号 昭和30年1月30日印刷
昭和30年1月30日発行

編集兼
発行者 倉敷市住吉町 岡山大学農業生物研究所
害虫学研究室内

倉敷昆虫同好會